

ぎくかい



2026.7.17

小国町議会だより 第169号

山の安全は俺達を守る



スマホ
からもご覧
いただけます!



裏表紙に詳しくインタビュー掲載しています。御覧ください!

6月定例会 全議案承認

特集

- アスモ再生に向けて 4ページ
- 議会だよりができるまで 10ページ

主な内容

- 定例会・臨時会 2ページ～
- 所管事務調査 5ページ～
- 一般質問4名登壇 7ページ～
- 活動報告 11ページ

小国町議会

ホームページ <http://www.town.oguni.yamagata.jp/gikai/index.html>
e-mail gikai@town.oguni.yamagata.jp

小国町議会

検索

中東情勢の影響続く

人件費・工事費増

融雪後の修繕 町道・林道維持補修



樽口地内の河川洗堀による
ひび割れ対策工事に3000万円

令和8年度 6月定例会

会期：6月4日～11日

- 令和8年度
一般会計・特別会計
補正予算 …… 9件
- 条例案件 …… 1件
- 財産の取得 …… 3件
- 報告 …… 2件
 - 一般会計繰越明許
 - 水道事業繰越計算
- 提出 …… 2件
事業計画
 - 小国町土地開発公社
 - おぐに白い森株式会社
- 陳情 …… 1件

2号議案

- 財産の取得 …… 2件
- 人事案件 …… 1件
- 一般質問は4名が登壇し町政を質した

条例の設定

● 白い森おぐに総合文化センターの設置及び管理に関する条例

当該施設の開館に向け公の施設としての適正な設置及び管理運営を図るため

人事案件

● 任期満了による農業委員の任命

小玉川	横山
小渡	金 敦子氏
大石沢	山口 満氏
若山	舟山 孝夫氏
町原	小嶋 剛氏
西	大谷 健人氏
小股	安部 茂氏

(全員再任)

財産の取得

- ローターリー除雪車…1台
61,718,700円
昭和建機株式会社
- ローターリー除雪車…1台
40,884,700円
昭和建機株式会社
- 軽四輪小型動力
ポンプ付積載車…1台
7,817,000円
株式会社長谷川ポンプ製作所
- 小学校学習者及び
指導者用端末…258台
29,799,000円
株式会社管理システム山形本部
- スクールバス29人乗り…1台
9,800,000円
山形トヨタ自動車株式会社米沢店

陳情

件名 mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書

陳情者

千葉県旭市後草 宇井 淳

注目する事業

地域おこし協力隊 起業・事業承継交付金

● 協力隊一名が任期終了後、当町の活性化に向けた事業を起業する見込みのため

100万円

電気柵設置事業

● 電気柵の設置について当初の想定を上回る希望者が増加したため補助金を追加

110万円

地域農業構造転換 支援事業

● 3名の農業者が経営改善に必要な農業機械を導入するための支援

1092万円



創農チャレンジ 応援事業

● 一名が就農するため給付金を支給

120万円

施設維持管理事業

● 林道各路線について調査を行ったところ路面洗掘や法面崩壊が確認されたため維持補修を行う

550万円

車両購入費

● 横根スキー場圧雪車が老朽化により修繕が難しくなったため購入する

7660万円

橋梁塗膜補修工事

● 令和4年の調査により町内2橋においてPCBの含有が明らかになったため塗膜を処分する

1億1000万円

臨時議会

令和8年4月27日

第4回臨時会

主な補正予算

● 大学や企業と協働した地域価値創造プロジェクト事業

▼1136万円

内容 大学や企業など多様な主体との協働により、本町の地域資源を活用したビジネス創出や、企業研修の受け入れ、都市部の社会人や家族を対象としたワーケーションの体制構築などに取り組む。

● 通所介護サービス確保支援事業

▼235万円

内容 飯豊町「日帰り介護センター福祉の里めぐみ」に

通所するための経費を負担する。



● 不動産鑑定評価業務

▼70万円

内容 「協同組合小国ショッピングセンター」が所有するアスモの土地建物を町が取得するにあたっての適正な価格を算出する。（詳しくは次ページで特集）

アスモ再生に向けて

小国町議会では、平成23年アスモの将来を不安視し小国町中心商店街活性化特別委員会を設置し、当時は町当局の介入が必要と結論付けられた経緯がある。

しかしながら人口減少や個人消費の落ち込みで、昨年4月の「協同組合小国ショッピングセンター」破産申し立てに至り未だ終結しない状況にある。

町は、不動産を取得し破産手続きを早期に終結させることが最優先として鑑定評価業務が開始された。

町長の 「アスモ再生への私の構想」

(一般質問の答弁より)

- 町民の生活や社会機能を維持していくための小売りや物流、福祉サービスや交通などを提供する機能
- 子育て支援センターや子供たちの遊び場となる機能
- 若い世代が楽しみながら過ごせる機能
- 特産品の販売や開発、当町のPRなど観光客も立ち寄れる機能
- 移住希望者の窓口や起業を希望される方々が力を試せるような機能
- 各世代が様々なイベントの開催、気軽にくつろげる交流機能

総務厚生常任委員会

所管担当課

総務企画課・町民課・税務課
健康福祉課・町立病院

総務企画課

少子化対策について

▶「白い森幸せ応援パッケージ」の事業展開

新総合センターの利活用に向けて

▶グランドオープンに向けての準備状況

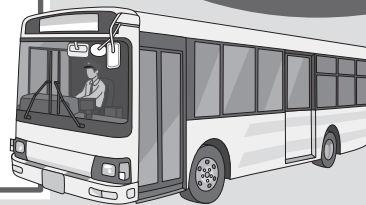
町民課

公共交通に関する取り組み

▶町営バス・デマンドタクシーの利用状況

空き家対策事業

▶増加する空き家への対応



健康福祉課

健康増進事業

▶高齢化率増加に伴うフレイル予防事業

包括ケアシステムの運用状況について

▶現状確認も含め機能的に運用されているか（共同事業）



町立病院・訪問看護ステーション

病院事業（併設型小規模介護医療院）

▶収支改善に向けた取り組み 人材確保

包括ケアシステムの運用状況について

▶現状確認も含め機能的に運用されているか（共同事業）



各課所管事務調査とは？

令和8年度 主な所管事務調査

2つの常任委員会において特定のテーマを設定し、担当する行政事務について調査すること。
担当課からの聞き取りや、現場視察等、行政への積極的な政策立案や、課題解決を提議していく。

文教産建常任委員会

所管担当課

教育振興課・産業振興課
農林振興課・地域整備課

教育委員会

保小中高一貫教育支援事業

▶ 特色ある学びの推進状況の確認

閉校校舎維持管理事業

▶ 有効活用状況把握

次期総合センター管理運営事業

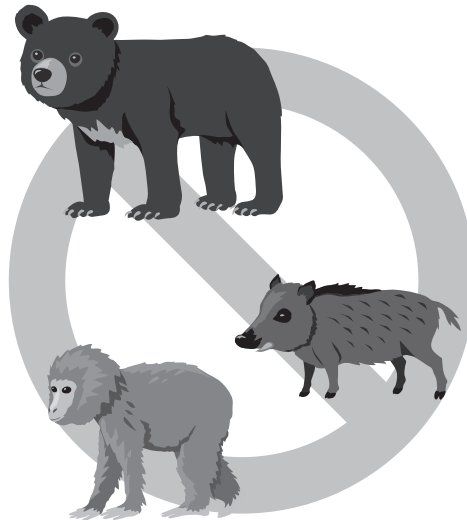
▶ 町民が利用しやすい運営調査



農林振興課

有害鳥獣被害対策事業

▶ 特にクマの被害対策の調査



地域整備課

簡易水道事業

▶ 課題が多く継続調査

産業振興課

観光施設管理運営事業

▶ 老朽化の対応と利用状況調査

いきいき街づくり公社支援事業

▶ アスモ活性化に向けての調査

ふるさと納税事業

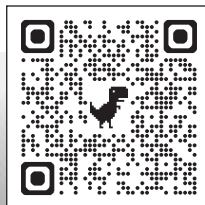
▶ 返礼品の開発・確保の状況調査



町政を問う!

6月定例会 4名登壇

動画でチェック



小林 嘉 議員

1. 米坂線復興の現状について
2. 民間介護施設が撤退したことによる影響と今後の介護関連について

ねらい 要介護高齢者の現状のとりえ方を聞きたい

間宮 尚江 議員

1. 「白い森幸せ応援パッケージ」と「福祉職転入定住支援事業」による既存事業との相乗効果は

ねらい 移住定住施策の戦略的方法と寄り添う支援の構築を望む

渡邊 重信 議員

1. 町民参加でゴミの無い美しい景観づくり

ねらい 町民の理解と協力で、美しい白い森の国おぐにまちを創り上げていきたい

小関 和好 議員

1. アスモ再生へ町長の構想を聞く
2. 少子化対策について

ねらい 町の活性化の具体策を聞きたい



どなたでも傍聴できます。
普段着で構いません。
出入り自由、年齢制限無しです!
お気軽にお越しください!

今号は
写真が小さく
感じた。



議会だより168号への

モニターさんの

感想

やはり、
カラーは良い。
読みたくなる。



予算の内訳からも
少子化対策に力を入れている
ことが伝わった。

表紙がカラーになって
満面の笑顔は
読者も幸せになった。

一般質問ページの
レイアウト変更で
メリハリが付き読みやすい。

間宮尚江 議員 ● まみや ひさえ



移住・子育て施策の 戦略的発信と体制を

町長 寄り添う支援と
教育の魅力で定住へ

問 幸せ応援パッケージと福祉職定住支援について、個別の周知ではなく生活基盤づくりを軸とした戦略的なプロモーションが必要ではないか。また、補助終了後も見据えた伴走型の支援体制の構築は。

答 町のホームページに特設ページを作成し、結婚から子育てまでの施策を一体的に掲載する。

また移住フェア等で暮らしやすさを積極的にPRする。補助終了後も定住に繋がるよう、相談や支援体制を確立していく。

問 流産や死産など不測の事態が起きた際、個人の裁量ではなく、給付要件の柔軟な適用や寄り添うケア体制を要綱

として明文化し、行政として組織的にサポートする仕組みを構築すべきではないか。

答 出産祝い金等の支給は原則出生時が対象となるが、保健師等が訪問し心身のケアに寄り添う対応を徹底する。対象のご家族が状況を受け入れ心休まるよう、町としてどのようなフォローを組み込めるか今後検討していく。



問 小中高一貫教育やA・L・T配置など、ハード面だけでなく人的投資（ソフト面）を定住子育てパッケージの集大成として組み込み、本町の強みとして対外的に発信していくべきではないか。

答 英語教育やICT教育に加え、地域住民と深く交流する「白い森学習（探究学習）」の経験が、若者の町内就職や定住に繋がる大きな成果を生んでいる。本町教育の魅力として、今後さらに積極的な発信に努めたい。

小林 嘉 議員 ● こばやし よしみ



1 米坂線の復興は 諦めたのか

町長 具体的に明示するよう交渉、協議を続ける

問 検討会議を七回重ねても話し合いの経過が見えない。復旧の方向性は整理されたのか。

答 山形・新潟両県の主導のもと自治体側は一貫してJRや国による鉄道での復旧を要望しているが議論が全く進まない。

JR側からの復旧にかかる提案は、JRの関りや支援が明確でないことから方向性が整理されていないのが現状であり、大変難しい局面に至っている。

これまでの議論の内容や経過について町民に理解していただく必要があるのを概要を説明する機会の設定を検討する。

引き続き両県の主導でJRの関与について、具体的に明示するよう交渉、協議を続ける。

2 満天の家の事業廃止と 要支援・要介護者への 対応は

町長 介護サービスの供給体制充実に取り組む

問 事業廃止の原因、施設の入居者、デイサービスの利用者にはどのように対応したのか。

答 施設経営者から介護士、看護師の確保が困難になり事業廃止を決定したと聞いている。グループホーム入居者全員が、「さいわいの丘」、川西町「かがやきの丘」、長井市「風ぐるま」にそれぞれ入所したと聞いている。

デイサービスの利用者は、町内では「さいわい荘」町立病院通所リハビリへの利用調整を行い、さらに、飯豊町の「日帰り介護センター福祉の里めざみ」に受け入れをお願いしている。

問 町内の介護関連施設の余裕がない状況を今後どのように対処していくのか。

答 将来的な介護サービスの供給体制の確保に向け「介護人材の確保・育成」「在宅介護支援の充実」「医療と介護の連携強化」に重点的に取り組む。

一般質問

渡邊重信 議員 ●わたなべ しげのぶ●



美しい景観もブランドでは

町長 彩り豊かな

白い森を目指す

問 自然全体が白い森ブランドであるとの答弁が過去にあった。「目に見える環境美化の町民との共有」「ボイ捨てごみの無いきれいなまちづくりを町民と共有」を実践することが、白い森ブランド構想に関わり、町民の手でブランドを物理的に練り上げることに繋がる。更に環境美化は喫緊の課題である野生動物(熊)対策にも繋がる。

答 豊かな自然環境を守り活かしながら、安心安全な生活環境、環境美化、道路・河川の保全活動に町内事業所、団体と取り組んでいる。

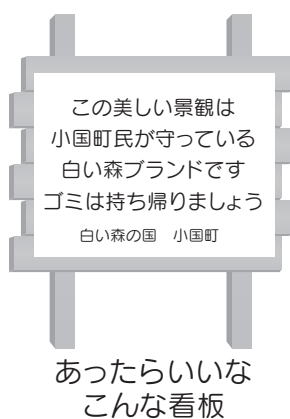
問 2年連続で町内一斉清掃が中止となっている。町長が掲げる政策が職員さんに確りと伝わっているのか。中止ではなく、予備日の設定も計画し、誰でも無理なく参加できるこ

とが必要ではないか。

答 今後は衛生組合と協議を重ね計画する。

問 広い小国町を行政の予算と人員、高齢化が進む集落に背負わせることも困難。住民主体型で町内会や町内企業、団体が道路や河川などを自分たちの場所(養子)として清掃や草刈りを行う里親制度、小中高校生も巻き込み看板やポスター掲示、参加者の「見える化」、更には「美しい白い森を守る」体験型のツーリズムイベントを行い、ボランティアや関係人口を増やす「白い森アドプト制度」や「白い森クリーン隊」設立を提案する。町民や関係人口の方々と真の白い森ブランドを推し進めて頂きたい。

答 十年後の未来創造の実現のため、「みんなで未来を描こう白いキャンパスに みんなで暮らそう彩りゆたかな白い森で」の実行のために提案内容を形にできるようしていく。



小関和好 議員 ●いせき かずよし●



1 「アスモ」再生の構想は

町長 まずは、町で取得

問 「アスモ」は、町のシンボルの存在である。再生に向けて町長の構想は。

答 「共同組合小国ショッピングセンター」は、昨年の4月に破産手続きが開始され、未だに終結していない状況である。建物の鑑定評価の結果を参考に町が不動産を取得することで、破産手続きを早期に終結することが最優先と考えている。その後は、高齢者をはじめとする町民の暮らし、若い世代、子育て世代、観光客など、あらゆる世代や町内外の人たちが身近に、気軽に交流できる施設を目指していく。

問 町民の意向を取り入れる仕組みが必要ではないか。

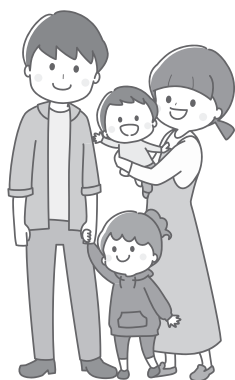
答 今後の課題として考えていく。

2 祝い金交付だけでは
少子化は解消しない

町長 結婚しやすい環境づくりを推進していく

問 幸せ応援パッケージの祝い金の交付だけでは出生数の増加にはつながりにくいと考え、その他の取り組みは。

答 県との連携でサポートセンターの登録等の活動や、本年2月には、長井市・飯豊町と合同で結婚相談会を開催した。また、今月は、田沢頭でイベントを開催の予定であり、秋にもイベントを予定している。併せて近隣市町と連携した結婚相談会も行っていく。今後、も子育てを含め結婚しやすい環境づくりを積極的に推進していく。





第1回
5月28日

編集会議

担当割りや特集を決め
各自取材・編集開始



169号表紙・裏表紙の取材
担当が責任をもって進めます

第2回
6月9日

進捗状況を確認

議会も進み一般質問の
原稿も集まる。
担当の進捗状況を確認。



第3回
6月12日

本格的な 編集に入る

表現や構成について全
員でチェックし印刷屋さ
んへ出稿。



169号

が

議会だよりは議会活動の内容を町民の皆様を知っていただくための広報誌です。
議員の中から選ばれた6名で編集委員会を組織し議会事務局のご協力のもと、年4回の発行を行っています。「町民のみなさんが読みやすく・わかりやすく」を心がけ編集しております。

第4回
6月25日

出来上がった原稿を確認

内容を声に出して読み、更に編集を加える。
再度印刷屋さんへ。



7月6日

最終確認

最終確認は正副委員長で実施。
前回編集箇所の内容をチェック。

7月16日

議会だより完成・納品

7月17日

議会だより配布

読者モニターへお届けし感想を
いただきます。地区ごとに仕分けし、
駐在員文書として皆様のご家庭に。



仕分けされた配布物

総務厚生常任委員会正副委員長等の変更について

総務厚生常任委員会の渡邊重信委員長から委員長辞任の申出があり、6月29日に開催した同委員会において、辞任が許可されました。これに伴い、正副委員長との互選を行った結果、委員長に小林嘉委員、副委員長に石山久美子委員が選任されました。

また、委員長の辞任に伴い欠員となった議会運営委員会委員については、6月29日付で議長が小林嘉議員を指名しました。

〈総務厚生常任委員会〉
委員長 小林 嘉
副委員長 石山久美子
委員 小林 嘉

〈議会運営委員会〉

変更後の役職

令和8年4月15日

西置賜行政組合 消防署小国分署庁舎 竣工式

小国分署の竣工式が行われ議員全員で出席しました。
広大な面積を持つ小国町の安心安全と、町民の財産と生命を守っていく新たな拠点となります。



令和8年5月26日・27日

令和8年度 町村議会議長・副議長全国研修会

東京国際フォーラムにて京都女子大学学長 竹安栄子氏による「女性模擬議会の取組」を聴講し、その後、置賜5町の参加者で情報交換を行いました。
女性議員の誕生につながった事案として参考となりました。



置賜の皆さんと憲政会館にて

がんばってます!



プロフィール

氏名 渡部 政信
● 小国山岳会 副会長
● NPO法人飯豊朝日を愛する会
● 飯豊朝日山岳遭難対策委員会救助隊
住所 小国町北
勤務先 クアーズテック
趣味 バイクツーリング
スポーツ観戦
山スキー 合同会社

Q 主にどのような活動をしていますか?

A 登山道の整備や、山小屋の管理受託、遭難予防、遭難救助、技術訓練、登山サポートなどです。

Q 活動されている中で大変なこと、またうれしと感じることは?

A 悪天候や猛暑、極寒の中での活動は厳しく感じます。うれしいと感じることは、自分たちが整備した登山道を使用して、登山者が楽しく無事に下山して、たっぷり

の笑顔を見せてくれたときです。

Q 今後の目標は?

A 山岳会は先輩方が築いてきた歴史ある会です。会の一員として、安全に登山ができる環境を提供し、多くの方々に飯豊朝日の山に来てもらいたいです。

Q 夢はなんですか?

A 生涯現役で山に登ることです。



▲ドローンでの遭難救助訓練

Q 渡部さんは山を愛しているのですね。

A 日本百名山に挟まれた小国町。町民の方々にもその魅力を知っていただき、一人でも多くの方に自然にふれあい、登山をしてほしいと思います。

ありがとうございました。
(文責 柴田)

次は9月定例会です
傍聴においでください



▲NPO法人飯豊朝日を愛する会の方々

編集後記

今回の取材を通して、小国町の豊かな自然は決して当たり前のものではなく、多くの方々の支えによって守られていることを改めて実感しました。

登山道の整備や安全管理など、山岳会の皆さんの地道な活動があるからこそ、私たちは安心して山に親しむことができます。人口減少や高齢化が進む中、このような活動を守っていくことも大切です。

山と自然は小国町の宝。それを支える人々の活動を町議会としても応援していきたいと思います。

柴田(記)

発行責任者

議長 長 安部 春美
副議長 伊藤 弘行
委員長 柴田 伸也
委員 石山久美子
副委員長 間宮 尚江
委員 小関 和好
遠藤 和彦